

令和5年度 学校評価書 (計画段階・実施段階)

福岡県立八幡中央高等学校 全日制課程

自己評価 学校運営計画(4月)
学校運営方針: 校訓および教育目標に則った教育実践により、中央生としての自覚と高い志を持ち社会に貢献できる生徒を育成し、地域や広く社会に信頼される学校文化を築いていく
昨年度の成果と課題: ①学習指導(基礎学力の定着、学びに向かう力の育成) ②学習指導力の向上に向けたICT機器の活用 ③進路指導(高い志を持った生徒の育成) ④生徒指導(あるべき姿と誇りを大切に生徒の育成) ⑤人権・同和教育の推進(自他を尊重する生徒の育成) ⑥特色ある教育の推進(他校と差別化された教育活動の推進) ⑦「社会に開かれた教育課程」の実現 ⑧広報活動(教育活動の積極的発信)

学校関係者評価
自己評価は
A: 適切である
B: 概ね適切である
C: やや適切である
D: 不適切である
項目ごとの評価: 学校関係者評価委員会からの意見
A: 新型コロナウイルス感染症が第5類に移行したにも関わらず、出席率が目標に届かなかったことは残念です。しかし、生徒に「わかる授業」を実践するとともに、ICT等を活用した対応を進めていただいていることはとてもよいと考えます。
B: 学校スローガンのもと、教職員と生徒がその実践に向かって取り組んでいる雰囲気を感じられました。今後も生徒一人ひとりが自己肯定感を高めることができるよう、引き続き丁寧な指導を行っていただきたい。今年度は学校行事が大きな制限を受けることなく実施できたことはよかったです。行事における委員会活動等を通して、本校の伝統行事の継承を図り、生徒の積極的な取り組みを促してほしいと思います。
A: 教科科目横断型授業の実践は、先生方の授業力や生徒の学習意欲を高める取組であり、今後も是非、積極的に取り組んでいただければと思います。人権教育は、SNSを端緒とする誹謗中傷が起きないよう繰り返し生徒には指導していく必要があると考えます。

自己評価及び学校関係者評価を踏まえた今後の改善策

- ・学力の向上: 授業規律を守り、3年間を見通した学習計画の徹底を図る。また、学びの基礎診断や校外模試の分析を行い、各教科の課題について具体的方策を検討する。
・基本的生活習慣の確立: 学校行事を通じて帰属意識を高め、本校生徒としての自覚を高める。スクールスローガン「自ら学び 自ら感じ 自ら考え 自ら創る」をより一層実践させる。
・志の育成: 第1学年時より、卒業後を意識した志の育成に取り組み、各生徒の進路実現に向け、キャリア教育の一層の充実を図る。
・豊かな人間性の育成: 学校生活を送る中で、本校生徒の誰もが大切にされている雰囲気や醸成することで、豊かな人間性や自己肯定感を高めていく。
・希望進路実現: 地域から愛され信頼される学校になるために、生徒の進路実現を図り、学校行事においては地域との連携を図る機会を積極的に活用する。

評価項目以外のものに関する意見
今後も地域から信頼され、地域とともにある学校として躍進していきますことを期待します。